

# 九州・アジア/中国ビジネス研究会

## 第92回研究会開催案内

**日時：** 平成26年9月25日(木) 18:30 — 20:30

**場所：** エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室  
福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111  
(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

**講師：** 森祐司 九州共立大学経済学部准教授

+ 高橋宏幸 久留米大学商学部・大学院ビジネス研究科准教授

**略歴：**【森祐司】：1968年福岡生まれ。筑波大学第三学群国際関係学類卒業。早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士（経済学）。(株)大和総研主任研究員、ペンシルベニア大学ウォートン・スクール客員研究員、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科講師（非常勤）、九州大学大学院経済学研究科講師（非常勤）、(財)年金シニアプラン総合研究機構主任研究員を経る。(株)大和総研退職後、現職。主な著書に、『地域銀行の行動分析』（早稲田大学出版）、『企業経営と年金マネジメント』（東洋経済新報社）、論文では「地域銀行の経営多角化」等多数がある。

【高橋宏幸】：1970年北海道生まれ。北海道大学経済学部経済学科卒業。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了（博士（経済学））。京都大学経済研究所研修員、京都大学大学院、大阪経済大学非常勤講師、九州共立大学准教授をへて、現在に至る。主な著書に「現代中国産業経済論」（世界思想社）、「国際比較の経済学：グローバル経済の構造と多様性」（NTT出版）などがある。

### **テーマ：** 北九州市における地域金融機関のリテール戦略と海外ビジネス支援のあり方

**概要：**金融業界では1990年代からの金融自由化の進行により、販売する金融商品の多様化、ネット銀行等で顕著な異業種からの参入などにより競争は激化するようになった。一方、少子高齢化、人口減少を背景に経済成長の鈍化・収益機会の減少がもたらされ、地域金融機関は厳しい状況に置かれている。正に地域金融機関の経営力の差が存続に直結するような時代になったと言える。他方、北九州市を見ると、政令指定都市の中で最も高齢化が進み、人口減少も進行していることから、そのような日本の地域経済の縮図となっている。そうした中、地方銀行業界では極めて珍しく北九州市に新たな地方銀行である北九州銀行が誕生した。その結果、競争が激化し、福岡銀行や西日本シティ銀行、福岡ひびき信用金庫など従来から展開する他行庫の経営戦略にも影響を及ぼしてきている。本報告では、北九州市を経営地盤とするこれら4つの地方銀行・信用金庫を取り上げ、各金融機関のリテール戦略について、店舗展開とマーケティングの側面から北九州市という営業エリアに焦点を当てた比較分析を行い、地元中小企業の中国・アジア進出支援のあり方について検討する。

**会費：**参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会